

草住都第546-1号

平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

草加市長 木 下 博 信



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年6月12日付け国道企第37号で依頼がありました件について、別紙のとおり回答いたします。

（担当）

都市整備部住宅・都市計画課 末次、関根

TEL 048-922-1790（ダイヤルイン）

FAX 048-922-3145

E-mail jutaku-toshi@city.soka.saitama.jp

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

埼玉県草加市

1 都市計画道路、生活道路整備に係る支援等について

都市計画道路は、都市の骨格を形成する重要な都市施設であり、都市の利便性の向上と、良好な都市環境形成のため、効率的かつ効果的な事業の推進が求められています。

また、都市計画道路のみならず、主要幹線道路、幹線道路、補助幹線道路、主要生活道路が、それぞれ適切な機能分担のもとに整備され、道路の体系化、ネットワーク化が図られることにより、交通渋滞の解消や、自動車及び歩行者の利便性、安全性の向上につながり、災害に強い安全で快適な道路空間が形成されることとなります。

つきましては、都市計画道路及び生活道路の整備を推進し、本市の基本構想の実現、課題の解消を図るため、道路事業、街路事業の垣根をなくし、財政的な支援及び地域の実情にあった柔軟な制度の構築をお願いします。

2 東埼玉道路及び国道4号（バイパス）について

東埼玉道路は、地域高規格道路として、地域の活性化に寄与しているところですが、都市計画決定区間17.6kmのうち、側道部5.7kmのみの供用開始となっております。そこで、自動車専用部を含み、残りの区間の早期供用開始、さらには首都圏中央連絡自動車道（県央道）までの延伸をお願いします。

また、国道4号は、本市区間で慢性的な渋滞が発生しており、生活道路への通過車両の流入による道路環境の悪化が課題となっています。あわせて、歩道が狭隘で、歩行者等の通行が危険な状況にあります。そこで、交通渋滞対策及び騒音振動対策として、交差点改良或いは6車線化への拡幅、及び、バリアフリー化された歩道の拡幅整備をお願いします。

3 高速鉄道東京8号線について

高速鉄道東京8号線（地下鉄8号線）は、関係11市町（草加市、越谷市、八潮市、吉川市、松伏町、野田市、下妻市、常総市、つくば市、坂東市、八千代町）で構成する「地下鉄8号線建設促進並びに誘致期成同盟会」を組織し、平成12年1月27日の運輸政策審議会第18号答申において、豊洲―東陽町―住吉―押上―四ツ木―亀有―野田市までの区間について、2015年までに整備を推進すべき路線として位置付けられています。国における平成20年度調査においては、現時点での社会的条件等がプラスされた需要、整備効果、事業性の調査が行われており、事業の進捗に資するものとして大いに期待しております。

本同盟会では、事業採算性の見通しや建設費の自治体負担額の検討を行い、8号線事業化に向けて条件整理を進めた結果、イニシャルコスト削減のため東埼

玉道路との併設可能区間の一体整備と、本鉄道の建設実現に事業費の縮減を図ることが大きな課題となっております。以上をクリアするための具体策として、ルートが重なる東埼玉道路との連携が極めて有効と考えております。東埼玉道路沿線にとっても、鉄道との一体整備をすることにより、渋滞の緩和や鉄道を利用することでの交通減少による環境への負荷の低減、鉄道と一体整備することで沿線住民からの道路の騒音問題に対する理解が得やすいなど、大きなメリットが出てくると考えております。

つきましては、沿線住民の悲願である地下鉄8号線の早期建設実現のため、今後、都市計画決定されている専用部の早期事業化及び専用部分の空スペースを活用した地下鉄8号線との一体整備をお願いします。

4 子どもや高齢者、障がい者に配慮した道路づくりについて

子どもや高齢者、障害者の安全に配慮した快適な歩行空間づくりの推進をお願いします。

高齢社会の進展とともに、今後、高齢者の交通事故増加が想定されます。また、障がい者も含め、車いすやシルバーカー等の利用者も増加していることから、バリアフリーを更に推進していくとともに、ユニバーサルデザインの考えに基づき、車いすがすれ違える歩道幅や、歩道の段差解消などにも配慮した道路改修整備により、高齢者や障がい者がハンデを負うことなく地域社会に参加できる安全、安心な道路環境づくりが必要と思われます。高齢者や障がい者は、自転車との衝突により、死亡事故や重症となることも多いことから、道幅の広い新設道路については、自転車と歩道の分離についても検討が必要です。加えて、滑りにくい材質、凹凸が無い、放置自転車が無い等、安全で快適に利用できる歩道の設置にも配慮が必要です。特に、障がい者には、視覚障がい者誘導用ブロックほか、文字・音声・光による誘導、案内等のできるシステムの設置についても配慮が必要です。

また、子どもの安全を確保するため、特に通学路上に、狭隘で歩行空間が十分に確保されていない歩道や、蓋掛け水路を活用している歩道が存在する場合、歩道の拡幅や、蓋掛け水路の修繕等についても推進していく必要があると思われます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

②-1 地域の現状と抱える課題

埼玉県草加市

○現状 本市の国道と県道、及び県道と県道との交差点は、ほとんどが渋滞箇所となっています。交差点内に右折車線がないこと、右折車線があっても短いことなどが原因であり、交差点改良が必要となっています。 交通渋滞緩和のためにも、早期に渋滞している交差点の改良事業をお願いします。	○課題 用地買収が伴うと、事業完了までに時間を要してしまいます。
東埼玉道路の供用開始に伴い、県道平方東京線をはじめとした周辺道路の通過車両が当該道路を通行した結果、東埼玉道路と東京外かく環状道路が交差する八条白鳥交差点以南の周辺地域の道路環境が著しく悪化し、大変危険な状況になっています。 また、東埼玉道路沿線に計画されている開発事業や事業化区間延伸により、将来的にはこの傾向に更に拍車がかかってくるのが想定されます。 そこで、今後、東埼玉道路の整備に際しましては、東埼玉道路管理者の責任において、当該交差点以南の地域を始め、周辺地域の道路環境対策について検討されますようお願いします。	草加市と八潮市の行政界に位置するため、課題の解決に関する協議が難航しています。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

②ー２ 地域の目指すべき将来像

埼玉県草加市

特にありません。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

埼玉県草加市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
特にありません。			